



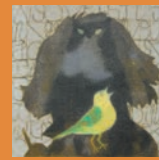
東京藝術大学

藝大プロジェクト2020

GEIDAI BEETHOVEN 250

～ベートーヴェン生誕250年記念～ 第2回

毎年ひとりの作曲家(作家)を取り上げて深く掘り下げる「藝大プロジェクト」、2020年のテーマは、生誕250年を迎えたL. v. ベートーヴェンです!



TOKYO
GEIDAI
the Year of
BEETHOVEN
2020/21

室内楽編曲で聴く ベートーヴェン

【学内限定公開】

要事前申込み
HP参照

2020.11.1 SUN
15:00 (14:30開場)

入場無料(全席指定) ※12日2日より配信予定

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

※観学前のお子様のご同伴・入場はできませんので、ご了承ください。
※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

[出演]

大林修子 (Vn)

永峰高志 (Vn)

吉岡麻貴子 (Vn)

佐々木亮 (Va)

中村洋乃理 (Va)

杉浦彩 (Vc)

向山佳絵子 (Vc)

笠原勝二 (Cb)

梶川真歩 (Fl)

石山直城 (Hr)

日高剛 (Hr)

Duo Plaisir
(大田佳弘 &
和田萌子) (Pf)

沢田千秋 (Pf)

沼口隆
(企画/レクチャートーク)

ベートーヴェン (C.フルヒャルト編曲):

《エグモント》序曲 op.84

(ピアノ連弾、ヴァイオリン&チェロ 三重奏編曲版)

L. v. Beethoven (arr. by C. Burchard):
Egmont Overture F-moll~F-Dur op.84 (Pf, Vn, Vc)

ベートーヴェン (J.アンドレ編曲):

《交響曲第5番》ハ短調 op.67

(ヴァイオリンとピアノ 二重奏編曲版)

L. v. Beethoven (arr. by J. J. André):
Symphonie Nr. 5 c-moll op.67 (Vn&Pf)

ベートーヴェン (F.リース編曲):

《交響曲第2番》ニ長調 op.36

(九重奏編曲版)

L. v. Beethoven (arr. by F. Ries):
Symphonie Nr. 2 D-Dur op.36 (2Vn, 2Va, Vc, Cb, Fl, 2Hr)

本公演は科学研究費の助成を得て実施しています。(基盤研究(C):課題番号18K00137)

※新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、公演の開催・内容・出演者などは予告なく変更となる場合がございます。最新の情報を藝大ホームページでご確認ください。公演に際しては出演者・スタッフの体調管理、入場者数の制限や換気など必要な感染対策を取り実施いたしますが、ご来場のお客様にも「体調管理・手指消毒・マスク着用」など、感染対策へのご協力をお願いしております。なお「37.5度以上の発熱、咳・呼吸困難、全身の倦怠感その他体調に不安のある方」「新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある方」、「マスクを着用されない方」その他主催者の判断により入場をお断りいたします(感染対策の詳細は藝大のホームページ、会場掲示または当日配布のご案内などをご参照ください)。

室内楽編曲で聴く ベートーヴェン

ご挨拶

国立音楽大学附属図書館所蔵の「ベートーヴェン初期印刷楽譜コレクション」は、ベートーヴェン作品（他者による編曲を含む）の19世紀の印刷楽譜1429点から成っています。私は、2018年より科学研究費の助成を受け、2名の共同研究者とともに、交響曲の編曲譜に照準を絞り、研究を進めてきました。実際に音として体験することは、研究の大きな目的のひとつであり、大勢の一流プロたちに御出演いただく本演奏会は、当該研究の集大成と言っても過言ではありません。

是非、お楽しみください。

音楽学・本学音楽学部楽理科准教授

沼口 隆

東京藝術大学奏楽堂

[大学構内]

〒110-8714
東京都台東区上野公園12-8

交通のご案内

■JR上野駅（公園口）・鶯谷駅（南口）、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

■京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。



沼口 隆 (企画/レクチャートーク) 東京藝術大学准教授、国立音楽大学および桐朋学園大学講師。ドルトムント大学博士課程修了。専門は音楽学、主たる関心領域は18～19世紀のドイツ語圏を中心とする音楽、とりわけベートーヴェンとその周辺。学術論文・翻訳論文のほか、共著書に『よく分かるクラシックの基本』『楽譜をまるごと読み解く本』など、共訳書に『シカゴ・スタイル 研究論文執筆マニュアル』『ベートーヴェンの第9交響曲 分析・演奏・文献』などがある。

大林 修子 (ヴァイオリン) 長野県松本市出身。東京藝術大学卒業。徳永二男氏、故田中千香士氏に師事。在学中、「第50回毎日音楽コンクール」第3位。「第26回海外派遣コンクール」松下賞受賞。1989年NHK交響楽団入団。2017年有馬賞。現在同楽団第2ヴァイオリン首席奏者。

永峰 高志 (ヴァイオリン) 東京藝術大学卒業。NHK交響楽団首席奏者として活躍し、その功績により有馬賞を授与される。現在は国立音楽大学教授として教鞭をとり、ソリスト、室内楽奏者としても活躍。また、新日本フィルなどのオーケストラにゲストコンサートマスターとして招かれ好評を博している。

吉岡 麻貴子 (ヴァイオリン) 東京藝術大学音楽学部を首席で卒業。安宅賞、アカンサス賞受賞。別府アルゲリッチ音楽祭、アフィニス夏の音楽祭、東京春音楽祭など、国内外の音楽祭、また、NHK『クラシック倶楽部』などにも出演している。現在、東京都交響楽団第1ヴァイオリン副首席奏者。

佐々木 亮 (ヴァイオリン) 東京藝術大学卒業。在学中に安宅賞受賞。1992年よりジュリアード音楽院入学。リンカーンセンターでリサイタルの他、ソロ、室内楽奏者として全米各地で活動。2003年帰国し翌年NHK交響楽団入団。2008年より首席奏者。桐朋学園大学、洗足学園大学にて後進の指導にあたる。

中村 洋乃理 (ヴァイオリン) 愛知県立芸術大学を経て、東京藝術大学大学院修士課程修了。第8回日本演奏家コンクール最高位受賞。2007年から2014年まで東京フィルハーモニー交響楽団フォアシュピーラーを務め、2015年NHK交響楽団入団。現在、次席奏者として活動中。

杉浦 彩 (チェロ) 名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京藝術大学器楽科を卒業。これまでにチェロを林良一、山田知野子、三木敬之の各氏に、室内楽を漆原啓子、小林道夫の各氏に師事。東京フィルハーモニー交響楽団委託契約団員を経て、現在はフリーランスとして活動中。

向山 佳絵子 (チェロ) 東京藝術大学を経てドイツ・リュベック国立音楽大学に留学。第54回日本音楽コンクール、第10回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール優勝。出光音楽賞の他、多くの賞を受賞。アルゲリッチ、ギトリス等の一流演奏家とも共演。現在、京都市立芸術大学准教授。

笠原 勝二 (コントラバス) 東京藝術大学卒業。江口朝彦氏に師事。1978年東京交響楽団に入団。入団後首席コントラバス奏者に就任し、2016年まで35年に渡り務める。現在も同楽団に在籍しながらソロ、室内楽、指揮活動等に取り組んでいる。

梶川 真歩 (フルート) 東京藝術大学、パリ・エコールノルマル音楽院、パリ地方音楽院を卒業。日本学生コンクールをはじめ、入賞多数。NHK交響楽団フルート奏者として活動する他、アンサンブルミクスト木管五重奏団、アウトリーチなどでも活躍中。桐朋学園大学、愛知県立芸術大学非常勤講師。

石山 直城 (ホルン) 静岡県出身。1988年武蔵野音楽大学卒業。1989年神奈川フィルハーモニー管弦楽団入団。2012年NHK交響楽団へ移籍、現在に至る。須山芳博、故田中正大両氏に師事。東京藝術大学非常勤講師。

日高 剛 (ホルン) 東京藝術大学、オランダ・マーストリヒト音楽院にてホルンを学ぶ。広島交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、NHK交響楽団ホルン奏者を歴任。現在、東京藝術大学准教授。日本センチュリー交響楽団首席客演ホルン奏者。

Duo Plaisir (大田佳弘&和田萌子) (ピアノ) 2008年結成。共に東京藝術大学大学院修士課程修了、ピアノソロ・デュオを角野裕氏に師事。第20回国際ピアノデュオコンクール、カワイ賞受賞などソロ、デュオ共に受賞多数。現在さまざまな演奏活動を行うほか、後進の指導にもあたっている。

沢田 千秋 (ピアノ) 東京藝術大学卒、同大学院博士課程修了。「ベートーヴェン交響曲リストによるピアノスコア」の演奏・論文にて博士号取得。主に故田辺緑、角野裕、土田英三郎の各氏に師事。東京藝術大学附属高校非常勤講師を経て、現在、国立音楽大学講師。